CADPAC-NT3D

CADPAC-NT 3D Ver.7.1 リリースノート

株式会社 デザイン・クリエィション

目次 1

- パフォーマンスの改善

•	DWG/DXF の読込み/書出しパフォーマンスの向上	4
•	<u>STEP/IGES/IFC の読込みパフォーマンスの向上</u>	5
•	汎用分解時に投影図の隠れ線自動再処理をしない	6
•	高解像度モニターのサポートの改善	7
•	インストールサイズと時間が削減	8
•	最後に使用した汎用編集項目/ページを記憶	9

- モデリングの強化

•	パートリファレンス挿入の連動性オプションを確認	<u>10</u>
•	材質/RGBカラー削除時のオプションと動作を改善	11
•	<u>プリミティブ作成の「基準位置」をキーボードで変更</u>	<u>12</u>
•	<u>締結要素セット機能</u>	13-16



目次 2

- 製図機能の強化

•	投影図表示修正:表示削除 で、ソリッド全体が選択可に	17
•	部分拡大図の境界属性を変更する機能	18
•	レイアウト名変更のダイアログボックス	19
•	幾何公差の輪郭度公差に不均等配分の付加記号をサポート	20

- その他の機能強化と注意

•	<u>部品表(BOM)の新しいソート機能</u>	21
•	<u>すべてのレイアウトを1つのPDFファイルへ書出し</u>	22
•	「Norton」が必要ファイルを脅威とみなす場合	23

- 外部変換

•	<u>Kubotek Kosmos 3D Frameworkテクノロジーを採用</u>	24-25
•	<u>ルートファイル検索をKubotek Kosmos 3D Frameworkテクノロシーで更新</u>	26
•	読込みオプションのダイアログを整理	27
•	書出しオプションダイアログの一部に英語表記	28
•	<u>外部変換対応バージョン表-1、表-2</u>	29-30

CADPAC-NT3D

New Technology

- DWG/DXF の読込み/書出しパフォーマンスの向上
 - レイアウトと多数の要素を含むDWGファイルの読込み時間が 約15%改善されました。
 - DWG/DXF書出しも、大幅に高速化されました。

3D



• STEP/IGES/IFC の読込みパフォーマンスの向上

- テストでは、前回のリリースから最大80%の速度向上が見られました。





- モデルモードでパートリファレンスを汎用分解しても、レイアウトモード での投影図の隠れ線自動再処理は行われなくなりました
 - パートリファレンスを使用し、多数のレイアウトを保持している場合には、
 汎用分解使用時に最大の速度向上を実感できます。





• 高解像度モニターのサポートの改善

- 以下の機能に於いて高解像度モニターをサポートしています。
 - ダイアログとツールバーの表示
 - プルダウンとスクロールのリスト
 - パートスプリッタ ウィンドウ
 - 座標軸の外観





- ソフトウェアのインストールサイズと時間が削減されました
 - ソフトウェアのインストールのサイズと時間は、
 Kubotek Kosmos 3D Frameworkテクノロジーの実装により
 大幅に削減されました。





すべての汎用編集ダイアログは最後に使用したツリー項目/ページを 記憶します







CADPAC-NT3D

パートリファレンス挿入の連動性オプションを確認できるようになりました

パートリファレシス挿入(I)
 リファレシス変換(V)

編集(E)

アセンブリツリー読み込み(R)

T.

<3>アセンブリ:編集:連動ハイライト

1771/2名の変更(<u>R</u>)

- アセンブリ:パートリファレンス挿入で連動性オプションを指定した場合、 連動性は次の3か所で確認できます
 - <1> 要素確認:座標

- <2>汎用編集-ダイアログにオプションのタブを追加。
 ここに連動性オプションが表示されます。
- <3> 新コマンド-アセンブリ:編集:連動ハイライト 2010

要素確認 詳細 値 YC 0 ZC 1.152 一 軽量 いいえ 小りつ 小りつ 一 一 投車分17 ツッド"の直線エッジ"	パ - トリファレンス 編集中 オフ [*] ション レンタリンゲ 属性 スタンダートラ [*] ロハ [*] ティ ユーザブ ☑ 視覚用途のみの軽量リファレンス ☑ ハ [*] ートリファレンスの表示にす法要素を含む 連動性オフ [*] ション(A) □ 挿入平面連動 □ 位置連動	● 0 × 0 × 10 × 10 × 10 × 10 × 10 × 10 ×
<1> 要素確認:座標	□角度連動 <2> 汎用編集	聖動ルイライト(G) 平面 位置 回転 アセンフジ連動の種類をピックしてハイライト

• 材質/RGBカラーが削除される時のオプションと動作を改善

この材質

2

- 設定解除 要素から材質を削除し、材質リストから材
- 残す 要素に割り付いている材質を残し、 材質リストから材質を削除します。

- 置換 要素から材質を削除し、 材質リストから材質を削除します。 材質レンダリングダイアログが表示 され、影響を受ける全ての要素に 新たに置換する材質を適用できます。

PA⊆-NT3D

New Technology

「質を削除 ぽ&を使用するすべてのま	余しま	す。 mmkla	すか?	٨	Clean O Aluminum	25% Transparent Tr	50% ansparent のト*に適用 ット*の面に適用 いに適用	75% Transpare
(前本) 予美す 材質のレンダ*リング* 名前 名前の変更					_	- 14 一 削 (。 注 集 王	
Clean 25% Transparent	材質名を適用	赤	緑	害		キャンセル		
50% Transparent	■ カラー	0	0		17	^\l/7°(H)		
75% Transparent	□ 環境	0				新規作成(N)	2	
Aluminum	■ 續面反射	0			反射		т —	
Brass		0						
Steel	☑ 光沢	0		1	-	I#1+(5)		
	2 35-	u 0		-				
		U		U		- base (#*)]		
	■ アリスナヤ語文正	L.N.				アリスナヤ語売3△		
	ショオメトリックマッピン	<u>σ</u>	_					
	Uタイル要集(U)	1						
	∀タイル姜欠(∀)	1						
	回転角	0						
◎ 球(P) 💿 立方体(C)								

プリミティブ作成ダイアログの「基準位置」オプションをキーボードで変 更できます

⑦ 四角柱(B)	四角柱の作成
 多角柱(P) ● 円柱(Y) ● 円錐(C) ● 今角錐(R) ● 球(S) ▶-ㅋス(T) 	<pre>作成方法 OK</pre>
<u>φ</u> 4 [*] 1†ξηρ(<u>D</u>)	長さ(Dy)(L) 10 高さ(Dz)(G) 2 軸の指定 ④ 作図面のZ軸(Z) ④ 選択(S) 基準位置 ④ 四角柱のコーナー(B) ① エッジの中点(E) ① 面と四角柱の中心(R)

b = 四角柱のコーナー e = エッジの中点 r = 面と四角柱の中心

基準位置

- 🧿 四角柱のコーナー(B)
- ⑦ Iッジの中点(E)
- ◎ 面と四角柱の中心(R)



• 新しい締結要素セット機能 🐖

- 締結要素、ワッシャ、ナットの組み合わせ作成と配置を 1つの操作で実行できます。



<次ページへ続く>

13

• 新しい締結要素セット機能<続き>

- ツール:締結要素:締結要素セットをクリックします。
- まず、コンバセーションバーから、締結要素の種類を選択します。



14

新しい締結要素セット機能く続き>

> 締結要素セットでは、 締結要素/ワッシャ/ナットのダイアログを自動的に表示します。



- 新しい締結要素セットく続き>
 - 締結要素セットを穴の上部に配置します。
 - 下部のワッシャとナットは、締結要素の端に 配置されます。
 (適宜、移動してください。)





- レイアウト:投影図表示修正:表示削除 で、ソリッド全体が選択できる ようになりました
 - スペースキー*で切り替えると、ソリッドが検索されます。 (*スペースキーはデフォルトの設定)

- 以前はエッジのみが選択可能でした。





• 部分拡大図の境界属性を変更する機能を追加

円弧ラベル 編集中

- 1. 汎用編集を実行します。
- 2. 部分拡大図のラベルテキストを 選択します。
- 3. 拡大範囲を選択して属性を 変更できます。





- レイアウト名変更のダイアログボックスを大きくしました
 - レイアウトの[名前変更]ボタンをクリックした時のダイアログボックスは、 最大59文字のレイアウト名が表示できます。



- 幾何公差の輪郭度公差に不均等配分の付加記号「U」(ASMEのみ)
 をサポート
 - 「U」は面の輪郭度において、オフセット量が公差域に対してはみ出しても良い 範囲(公差域の限界)を規制するものです。
 - 以前のバージョンでは、不均等配分コードは手入力する必要がありましたが、 オプションとして追加されました。



その他の機能強化と注意

部品表(BOM)の新しいソート機能

- タイトルをクリックすることで、列をソート(並べ替え)することができます。



その他の機能強化と注意

- すべてのレイアウトを1つのPDFファイルへ書出しする 新しいオプションを追加しました
 - すべてのレイアウトを1つのPDFファイルへ書出しする場合、
 モデルモードでおこなってください。

PDF 書出しれ ² ション 用紙/品質 サイズ A ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
左 0 インチ 右 0 インチ スケール ③ 自動 ③ キー入力 1 点のサイズ ④ 自動 ③ キー入力 1 インチ 方向 ④ 縦 ◎ 横	Alton Edit Convert Edition Pottor track Q Pottor track Q Po
ルアーと要素 しつね モデルモードの要素とレイアウト 「日本Piaszモ ではスケロ Default	

その他の機能強化と注意

- セキュリティーソフト「Norton」が必要ファイルを脅威とみなす場合が あります
 - CADENAS 3Dfindit を実行すると、Norton がcefhelper.exe を脅威と見な すことがあります。
 - その場合、[その他のオプション]を選択し、[例外を作成]を選択すると、 Norton の例外リストに追加されます。その後、3Dfindit を利用することが可能です。



CADPAC-NT3D

- 主な外部変換に
 Kubotek Kosmos 3D Frameworkテクノロジーを採用
 - 主要な3D CADシステムからのファイル変換は、
 Kubotek Kosmos 3D Frameworkライブラリのテクノロジーに 基づいて実行します。



File translation and modeling capabilities from Kubotek Kosmos 3D Framework are included



く次ページへ続く>



- DWG/DXF変換は引き続きOpen Design Allianceライブラリに基づいていま す。
- * CATIA V4書出し機能が削除されました。
- ** CATIA V5 書出し機能は、アセンブリを平面化して書出します。 今後のアップデートで、パートリファレンスファイルとして書出すオプションを復元 する予定です。



- ファイル:ルート ファイル検索を 新しい Kubotek Kosmos 3D Framework テクノロジーで 更新しました
 - ルートファイル検索はアセンブリの親ファイルを検索するために使用されます。



CADPAC-NT3D

読込みオプションのダイアログを整理しました

- 2つのタブを1ページにまとめました。

Catia V5 読込みわ ション	
CATIA V5 読込みオプジョン 共通読込みオプジョン	
□ 7 ₂ √1.07.7.4 ₂ /m3x(.1)	
 現在2014以面に2015を移動(G) ✓ 問題のある要素を修正(B) ✓ 冗長な要素を処理(G) 	
ローカル座標システム変換わらション	
 ● 作図面/スト(ご自加(T) ● 平面として変換(S) ● 変換しない(N) 	
ホツコン変換オフション	
● * * 7771(2,854(F) ● 外形表示(C) ● 塗潰素示(F) ● 古 * 64(-本)(#(1))	
● 但称に変決(L) 要素属性	
 ● 保存腐性を使用(d) ☑ 面のカーを変換(A) ● 現在腐性を使用(Y) 	
 ● 保存されたレハル情報を使用して要素を配置(U) ■ 要素名を使用してサットルルを作成(Q) ● 全要素を活性レハル(面配置(V) 	
○ 1レベル(こ1要素(E) 開始レベル 1	
「モンノツ読込のオノンョン」	
○ 内部パードファレンスのアセンフッツ(H)	
● 外部パーやファレスのアセンフリ(2) ◎ 元のファイルのディルクリにファイルを読込み(R) ● 選択したティレクリにファイルを読込み(C)	
C:¥KeyCreatorPro.2024.SP0¥CKD	
✓ パードリファレンスを軽量モードに設定(K) □ パードリファレンスを視覚テータ付きに設定(Z)	
☑ 協定世界時(UTC)	
PMI読込みオフション	
 PML要素を読込み(U) ビューを読込み(W) 	
OK キャンセル リセット ヘルプ	

CATIA 5 読込みオプション		—
読込みファイルの単位系不適合処理――		ОК
◎ 現在のパートの単位系をシリメートルに		
◎ 現在のパートの単位系に合うように	Cancel	
◎ 単位系不適合を無視		
◎ 図形要素に指定のスケールを適用		
スケール	1	
☑ ブランウ(非表示)要素読込み		
リファレンストンパートとサフアセンフリの場所――		
◎ ファイル読込み時に確認		
◎ 読込みファイルと同じ場所		
○ フォルが指定		
フォルダンのハペス		
	+	
アセンフッファイル記念之み		
◎ 全リファレンスを現在のパートの要素()	2平面化	
○ 外部ファイルリファレンスのKeyCreator)	アセンフツ作成	
リファレンスト・パートを配置するフォルダ		
◎ 読込みファイルと同じフォルダ		
◎ 指定のフォルダ		
フォルダのパス		
1		

CADPAC-NT3D

• 書出しオプションダイアログボックスの一部に英語表記

- Parasolid、CATIA V5の書出しオプションダイアログボックスの項目が 英語のままで、翻訳されていません。
 - 平面とベクトルは分解してワイヤーフレームで書出し
 - 書出す要素の基準位置を指示
 - 現在の作図面に相対的に要素を書出し

Parasolid 書出しオプション		
パージョン 36.0 -	OK CATIA 5 書出しオプション	×
Export Planes and Vectors as Burst Wireframe Geometry		
Indicate Exported Geometry Base Location	Export Planes and Vectors as Burst Wireframe Geometry	ОК
Export Entities Relative to Active Construction Plane	Indicate Exported Geometry Base Location	Cancel
	Export Entities Relative to Active Construction Plane	



• CADPAC-NT 3D Ver.7.1 データ変換の対応Ver. 表-1

ファイル形式	データ変換	サポートバージョン	アセンブリファイル
ACIS	読込み	R2024	NO
	書出し	R2024	NO
DWG/DXF	読込み	2022までの全バージョン	NO
	書出し	2022までの全バージョン	NO
IGES Geometry	読込み	5.3まで	YES
	書出し	5.3	YES
STEP	読込み & 書出し	AP203, AP214, AP242	YES
Parasolid	読込み	7 – 37	YES
	書出し	20 - 36	YES
Solidworks	読込み(2D,3D)	1999 – <mark>2024</mark>	YES
Autodesk Inventor	読込み	9 - 2025	YES
PTC Creo (Pro/E)	読込み(2D,3D)	Pro/E 2000i - Creo 11.0	YES

<次ページへ続く>



• CADPAC-NT 3D Ver.7.1 データ変換の対応Ver. 表-2

ファイル形式	データ変換	サポートバージョン	アセンブリファイル
Siemens / NX	読込み(2D,3D)	3D:V10 - NX2406 シリース゛ 2D:NX - NX2406 シリース゛	YES
Solid Edge	読込み(2D,3D)	ST10 まで, <mark>2024</mark>	YES
JT	読込み(Geometry)	10.10 まで	YES
IFC	読込み	2x3, 2x4, 4	YES
Rhino	読込み	V8 まで	
CATIA V4	読込み(2D,3D)	4.15 - 4.25	No
CATIA V5	読込み(2D,3D)	V10 - V5-6R2024(R34)	YES
	書出し(Geometry)	R14, 19, 20	YES(平面化)
3DXML (CATIA V6)	読込み(3D)	V6 R2010x - R2013x 3DExperience R2014x - R2024x	NO

